

No.259 新春号
1985年7月 第1号発行
2007 January 平成19年 1月

波紋

PUBUSHER: 森松株式会社
EDITOR: 梅田文康



第25回 家族忘年会

第25回 家族忘年会在、12月9日(土)に栄マルベリーホテルで行われました。

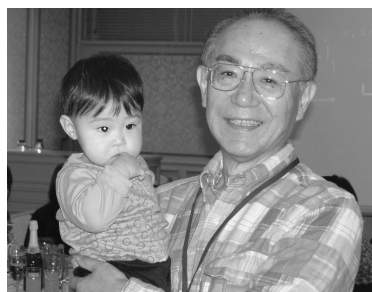
今年は創立50周年という事もあり、イベントの1つとして会社に保管してある20年程前の写真、主に家族忘年会で撮影した写真をスクリーンに投影して皆さんを楽しませる企画を行ないました。

20余年の歳月は体型を変え、髪も…。その変貌振りに本人が一番驚いているのでは？

また、この企画はある意味忘年会に出席した子供の成長記録にも良いな、などと成長した皆さんの子供達を見て思いました。数年後、新たに制作して皆さんに紹介しようと考えています。

それまで皆さん老けないように頑張りましょうね!

幹事代表 成瀬勝英



『新年を迎え』

社長 森 直樹



皆様、2007年あけましておめでとうございます。
2006年もあっという間に過ぎていきました。昨年度は、東京オフィス開設 第14回元氣の出る森松展、そして中国への50周年慰安旅行と、大きなイベントが続いた一年でした。今年は、これまで以上に変化の早く、多い一年になるでしょう。
2007年、私のキーワードは「決断」「現場」「行動」です。まず、あいまいにせず明確に「決断」すること、「現場」を見て学ぶこと、そして実際に手を動かしてみること、最後に、弊社モーリン語録にもあるように「決めたことは即実行する」の「行動」。迷ったらまずやってみることです。
全ての結果は、頭の中の理論や、紙の上の文字ではなく、実行したことに対して善し悪しが判断されるものです。たとえ失敗したときでも、実行したからこそ失敗の原因がわかり、次回に生かすことが出来るものだと考えます。
これらはなにも目新しいことではないですが、現代は年々速いスピードと変化が求められる時代です。そのためにはひとつひとつの問題をおろそかにせず、決断していくことが重要ではないでしょうか。皆様、今年も宜しくお願ひ申し上げます。

naoki@morimatsu.net

2007年 1月

の予定

27日(土)	24日(水)	23日(火)	20日(土)	19日(金)	18日(木)	16日(火)	13日(土)	11日(木)	10日(水)	9日(火)	8日(月)	7日(日)	6日(土)	5日(金)	4日(木)	3日(水)	1日(月)
第四土曜日休み	生産会議 18時~	経営会議 16時~	CS(顧客満足)向上会議 15時10分~	第三土曜日休み	生地卸賀詞交歓会(池下駅・厚生年金ホテル)	中国情報会	第二土曜日休み	三菱商事(株)賀詞交歓会	アキレス(株)賀詞交歓会	信念会 17時~19時(栄マルベリーホテル)	成人の日	津田巨さん誕生日	第一土曜日休み	仕事始め	内田洋行賀詞交歓会	吉岡孝記さん誕生日	元旦



編集長交代挨拶

11代目 編集長挨拶 (総務部) 梅田文康

今号をもって「波紋」編集長を退く事になりました。

入社2年目に11代目の編集長として就任して以来、歴代編集長の中でも最多発行数となる55号を発行する事ができ、大変嬉しく思います。

編集活動が続いていく中には苦勞する事も多々ありましたが、編集長を経験した事により通常業務だけでは得られない様々な事を学びました。

早くから編集長を任せていただいた事に感謝すると共に、何に対しても積極的に取り組む姿勢をこれからも大切していきたいと思ひます。長い間、本当にありがとうございました。



12代目 編集長挨拶 (営業部) 小坂美香

波紋260号より、編集長を引き継いで頂く事になりました。この伝統ある「波紋」の編集長を引き継ぐ事になり、今は不安でいっぱいですが、良い経験だと思ひて取り組んでいきたいと思ひます。

入社してから今までの間に、お客様が「波紋読んだよ」と言ってくれた事が何度もありました。そういった声を聞くと、波紋の編集委員をやってきて良かったなと思ひます。

これからも、たくさんの方に読んで頂けるような「波紋」にしていきたいと思ひますので、よろしくお願い致します。



『自由の国 日本と中国』

呉 亭 (12月15日退職しました)



先輩達とお食事をした時の話を思い出しました。
★結婚について

日本は16歳から結婚ができますが、中国では男性22歳、女性は20歳と法律で定められています。その他に、入籍までいろいろと手続きが必要です。まず独身証明を警察署にて証明してもらい、婚姻前健康診断 婚姻勉強会などをクリアしてから、始めて「結婚証」を発行してもらうのです。

★子作りについて

日本は自由の国です。ドラマ「14歳の母」を見て驚き、日本人に命の大切さを教わりました。
中国では、赤ちゃんができた時、必ず勤め先から「出産許可書」貰わないといけません。なぜならば、病院で検査を受ける為、欠かせない書類になるからです。

昔、お婆ちゃんの姪が18歳未婚で子供ができた時、村の計画生育委員会の担当が毎日彼女の家へ尋ね、彼女と彼女の親に生育教育したそうです。結局、赤ちゃんがお腹に居た時、人工中絶によつて殺されました。例え、その赤ちゃんが生まれてきても住民票が取れない、莫大な罰金も支払えないことになりました。家族の皆にとつて、とても悲しい出来事でした。

現在、中国も高齢化が進んできています。以前の二人っ子政策「が緩められ、法律の条件を充たした場合には二人まで産めるようになりました。しかし、現実には子育てに莫大な費用がかかる為、二人産む家庭は少ないようです。ただ、このような政策は中国国内に在任している国民に限つての話です。

現在、日本にいる私はとても幸せです。日本人のように自由に生きていけるのですから。

『尾張七福神めぐり』



村田恒夫 (総務部)

先日、尾張七福神(善光寺・根福寺・正塔院・刈萱堂・歓喜院・永張寺・地泉院)めぐりをしました。カーナビのない車で、インターネットから印刷した地図を見ながらの運転は少々辛いところがありました(寺の付近は、かなり狭い道が多くわかりづらい)。今回の尾張七福神めぐりは、息子の趣味(寺めぐり)・車の運転(練習)を兼ねたものでしたが、祖父江の山崎地区では、銀杏の黄葉まつりが開催されて車の中からの見学でしたがとても綺麗でした。善光寺では、真つ暗な階段・通路を壁沿いに手を添えて歩行しての戒壇めぐりは極楽の様子が明るく安置されていました。お参り後、息子は朱印帳を購入し朱印を頂きました(1回300円)。各寺にて朱印帳に朱印を頂き、最後の地泉院に着いた時には、「やっと終わった、これで帰れる」と正直嬉しく思いました。

息子の寺めぐりの趣味は、今年に入ってからですが、休日になると電車・バス等を使い朱印帳を持つての寺めぐりをしています。知らない土地へ行って新たな発見をしたり、お寺でお参りすることにより気持ち落ち着くようです。

最近では、世界遺産にも興味をもっていて、アンコールワット(カンボジア)が観たいとの話してきていましたが、年末(12/29)からカンボジアへ行くことになりました(私も同行)。カンボジアの次は、ミャンマーへ行きたい!? 私は、そんな趣味はありません。

『「健康」の有難み』



伊東郁二 (特販部)

10月16日、朝起きたら右足首が「捻挫」の様な状態で自分自身がビックリしましたが、とりあえず足を引きずり会社へ行きました。11時頃、歩くのが困難なほど痛くなり接骨院へ行きました。「捻挫の覚えもないし、急に痛くなった」と伝え、翌日から出張へ出るため、とりあえず「テーピング」でしっかりと固定してもらいました。非常に楽になり「そのうち治る」と高を括つておりました。

数日後、右足が2倍に腫れ上がり、ギブスで固定することになりました。看護婦をしている子供の友人のお母さんに事情を話したところ「血液検査」を受ける様にアドバイスをいただきました。結果、痛風・糖尿病に因しては、「症候群」の域であることが解りました。「高脂血症」との診断でした。アキレス腱に炎症が出るそうです。「中性脂肪値」が、通常60~150のところ、「365」で「いつ死んでもおかしくない」と言われ、真剣に飲み薬と食事療法について説明を受けました。今回の関節疲労は、高脂血症も要因の1つで出やすい身体になっていたことも解りました。

「アルカリオン水」を毎日2リットル飲み、体内の老廃物を尿として排出することからスタートしました。食事のカロリーブックをもらい、計算しながら食事をして約1ヵ月半、8kgの減量に成功しております。残念なことにもともとが多かったので8kgでは誰か付かないのが現状です。

自宅の食事は、野菜豆腐など、ヘルシーなものばかりが食卓に並びます。子供達は、「野菜ばかりで肉が食べたい」と言っておりません。家族は、夕食後に食べるものは、僕の前では食べない様に協力してくれています。

入社当時の56kgの体重に戻すのは無理としても、食べながら無理をせず後8kgは減らして健康に注意したいと痛感しております。医者から「死ぬぞ」と言われて、今回はやはり真剣に意識しております。人間は弱いから「きつかけ」がなければなかなか努力はできないと思えました。

『懐かしい味・贈り物』



長崎 修 (製造部)

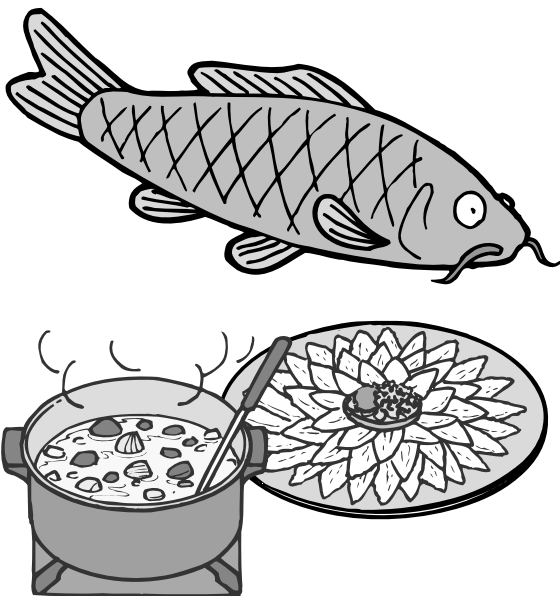
先日、私の実家の親父に頼んで、鯉を一匹調達してもらいました。勿論それは食べる為である。私は幼い頃、川の近くに住んでいたせい、川魚を食べることはあったが、大人になってからはほとんど口にすることがなくなった(ヤナには毎年一回は行きますが)。

ふとしたきっかけで「アクア・トトギス」に遊びに行つた時、魚を観賞しながらこれを刺身にする何人前かな・焼き魚で食べたいなどと呟く妻の言葉を聞きました(私と子供は他人のふり)。

妻の実家でも鯉を幼い頃から食べていたみたいで、最近鯉ヘルペスとやらで鯉の養殖をやめてしまった所が多く、鯉の入手が困難になり3年くらい食べてないらしいです。

私はそれほど好きということはないから別に気もなかったのですが、ある日、妻が「あなたのお父さんに頼んだら鯉って手に入るの?」と聞かれ、親父に聞いてみたところ、知人から分けてもらうことは可能だと返事を貰いました。妻から「だったら早々、お父さんに頼んでよ」と頼まれ、「そんなに食べたかったのかな?」と少し不思議になったが、そういえばお千代保さんに妻の実家と一緒に行った時、昼食は私と子供以外、鯉の刺身定食を頼んでいたなあ。やっぱり大好きなんだ。

さて、親父が手配してくれた鯉は予想以上に大きすぎて鯉のあら(刺身)には向いていないと妻が少しがっかりしていたので、とりあえず大きな鯉を車に乗せ、川魚料理の店が多くアルバイトの経歴もあつたので、きつ



と何処かの店で分けてくれるだろうと思ひ、お千代保さんに向かいました。予想は見事に的中し、店の池から一匹手ごろな大きさの鯉を分けてもらいました。

車の中には元気な鯉が2匹、急いで奥さんの実家に運びました。実家では鯉の到着を楽しみにしていたお義父さんが早々見事な手さばきで2匹の鯉を料理していました。さすが元魚屋さん。私には、かわいそうで絶対出来ません。

かくして大きな鯉は鯉コク(味噌汁)にそして手頃な鯉は鯉のあらになり、その日の夕食に美味しく頂きました。皆の美味しそうな顔を見ているとなんだか私も嬉しくなりました。そんな私の横で長女が鯉のあらを食べて一言「みずみずしくて美味しい」。ひよっとするとうちの子ってグルメなのかなと思つてしまった私は、本当に親ばかなんだなと実感し鯉料理を堪能しました。

『教育改革』



堀江辰造 (企画営業部)

先日、安部総理は、任期中に憲法9条を改憲する意欲を示しました。改憲草案では、自衛権を持つことになり、戦争放棄を放棄しています。そして、国民に国を支える義務を課します。国防を含む公益に反しないようにしか自由がありません。昔学んだ言葉で言うところ、個人のため国家ではなく、国家のための個人となります。

教育基本法も、政府案では、現在の「個人の価値をたつとび」「自主的精神に充ちた」という文言を削除して、「国家及び社会の形成者として必要な資質」を備えた国民の育成を目指します。ここでも、個人よりも国家です。また、「学校においては、体系的な教育が組織的に行われなければならない」とされ、強制が前提となっています。法律に規定され、達成目標となる以上、強制されます。

こうして国家のために働く、極端な場合は死んでいく国民を育成する基本法ができようとしています。上記の改憲とまったく同じ目的のものだと思ひます。ここからは、美しい国とは正反対の方向へ向かっているような気がしてしまいます。

パートさんコーナー

「ストレス解消」



名村有希子 (営業部)

私のストレス解消方法はいろいろありますが、一番の解消方法は音楽に関することです。

カラオケに行って好きな歌をたくさん歌ったり、ライブに行つてはしゃいだり、一日中音楽を聴いてゆっくりと過ごしたりすると、とても気分が良くなります。

特定の音楽を聴くと思い出がよみがえる事ってありませんか?音楽はとても不思議なもので、良

くも悪くも人間の感情や心を揺さぶったり落ち着けたりする力があると思ひます。

ストレスが溜まっていると思われる方、自分では溜まっていないと思っている方も、一度一日ゆっくりと好きな音楽を聴いてみて下さい。翌日すっきりした気持ちになれると思ひます。